

「見せる警備・利用者の参加」を軸とした新たな 鉄道テロ対策の実施について(第1次施策)

対策メニュー	説明
<p>1. お客様用危機管理カードの配布</p> <p>【概要】 鉄道利用者に対して、不審物等に対する注意を喚起する「危機管理カード」を配布。</p>	<ul style="list-style-type: none">・本年11月2日、全国主要駅で約40万枚を配布(JR旅客鉄道会社、大手民鉄、公営地下鉄の計31事業者)。【参考1参照】・今後、準大手・中小事業者約70事業者で同カードの配布や同デザイン等をポケット版時刻表等の裏面に印刷するなど検討中(例：広島高速交通、広島電鉄ではプリペイド式乗車券に、新京成電鉄では駅別時刻表等に印刷予定)。 
<p>2. 不審者・不審物発見時に利用できる非常用インターホン等の設置</p> <p>【概要】 鉄道利用者が駅ホームで不審者・不審物を発見した際に迅速に駅務室、警備員室等に連絡するための連絡手段を整備。</p> <p>(通報事由として「不審者・不審物発見時」と明記するなどテロ対策としての利用を喚起)</p>	<ul style="list-style-type: none">・現在、札幌市営地下鉄(右写真)等で駅構内に非常用インターホン等が設置・稼働中。既設事業者においては、今後、同様のインターホン等の取り扱い説明の中に、通報事由として「不審者・不審物発見時」と明記した通報喚起ステッカー等を貼付する予定。・今後、東武鉄道、東急電鉄等で設置が予定されるなど、全国約40事業者で実施に向けた検討を行っている。 
<p>3. 監視カメラ警戒強化表示</p> <p>【概要】 「監視カメラ作動中」などの警戒メッセージを駅構内に目立つように表示することによりテロの抑止効果を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none">・京成電鉄、東京都営地下鉄など全国約80事業者の駅構内で「監視カメラ作動中」等の警戒強化ステッカーなどを掲示予定。 